

明治ジャッジ箱粒剤

農林水産省登録 第20093号

ジャッジ箱粒剤

農林水産省登録 第20092号

今般、原則として全ての農薬に、順次、短期暴露評価が実施されることとなりました。この評価にあたり、ジャッジ箱粒剤は登録変更申請を行い、平成27年7月8日に登録変更となりました。

短期暴露評価とは、登録されている使用方法で想定される最大の農薬量が残留したと仮定した作物を、たとえ通常より多くの量を短時間に摂取した場合でも、健康に影響を与えないよう農薬の安全性を一層担保するために導入されるものです。

このため、生産者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録変更内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

登録変更内容

農薬登録の削除作物について

下記の作物ではジャッジ箱粒剤を使用しないでください

作物名			登録削除の内容
きゅうり	キャベツ	ねぎ	作物を削除

ジャッジ箱粒剤は以下の新しい登録変更内容にてご使用をお願いいたします

ジャッジ箱粒剤 平成27年7月8日 登録変更内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 もみ枯細菌病 白葉枯病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ツマグロヨコバイ イネヒメハモグリバエ ヒメトビウンカ セジロウンカ ニカメイチュウ第1世代 イネシンガレセンチュウ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植前3日 ～移植当日	1回	育苗箱の上から 均一に 散布する。	1回	2回以内 (育苗箱への処理) 及び側条施用は 合計1回以内

[本件に関するお問合せ先]

Meiji Seika ファルマ製品の場合 Meiji Seika ファルマ株式会社 農薬資材部
営業グループ 03-3273-3431

OAT アグリオ製品の場合 OAT アグリオ株式会社
コールセンター 0120-210-928

生産者の皆さまへ

登録変更内容のお知らせ